

特殊セメント系/非金属骨材系
高性能無収縮グラウト材

マスターフロー[®] 540 グラウト

MASTERFLOW[®] 540 GROUT

 **BASF**
The Chemical Company

マスターフロー 540 グラウトは、土木・建築構造物の逆打ち工事や耐震補強工事等に用いられ水和に伴う発熱を抑制した無収縮グラウト材で、静荷重はもとより動荷重を十分支持し、基礎部へ均一に伝達することができます。また、流動性に富み、無収縮性で安定した強度発現性と耐久性を有します。

特 長

1. 施工性（流動性）

流動性が優れているため、スタットボルトや配筋回りの介在物の隅々まで間隙部を充填することができます。

2. 無収縮性

所定のコンシステンシーの範囲内で練り混ぜられたグラウトは、材料分離やブリーディングが無く、安定した無収縮性を示します。

3. 強度特性

初期および長期とも安定した強度を発現します。

4. 耐久性

乾湿の繰り返し、温度変化あるいは凍結融解等の環境条件に対して、優れた耐久性を示します。

用 途

- 土木・建築工事における耐震補強工事
- 各種逆打ち
- 鋼管柱等の中詰め

仕 様

1m ³ 当りの標準使用量 (kg)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシー (J14漏斗流下時間・秒)	練上り温度 (℃)	可使時間 (20℃)
2,000 (25kg × 80袋)	3.2~3.9	6~10	10~35	約30分

施工方法

1. 健全なコンクリート面を露出させ、粗面状態で余剰水のない湿潤面とした上で施工してください。湿潤面にできない場合は、乾燥したコンクリート面に吸水防止材等を塗布した上で施工してください。
2. マスターフロー 540 グラウトは「すぐ使える」プレミックス製品ですので、使用時に所定量の練混ぜ水を加えて、ミキサで均一に練り混ぜてから使用してください。
3. 使用水量は、材料温度、気温およびミキサの性能等によって多少左右されます。注入施工に適した軟度のグラウトを得るには、1袋当たり3.2~3.9ℓの範囲で使用してください。
4. 1袋当りの練上り量は約13ℓで、1m³当りの標準使用量は2,000kg(25kg × 80袋)になります。

物性試験結果例

養生温度 (°C)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシー ¹⁾ (秒)	練上り温度 (°C)	ブリーディング率 ²⁾ (%)	凝結時間 ³⁾ (時-分)	
					始 発	終 結
5	3.7	7.6	11.0	0.0	11 - 35	15 - 10
20	3.7	6.8	20.0	0.0	5 - 45	7 - 00
30	3.7	6.2	30.0	0.0	4 - 30	5 - 30

膨張収縮率 ⁴⁾ (%)			圧縮強度 ⁵⁾ (N/mm ²)				曲げ強度 ⁶⁾ (N/mm ²)	
1日	3日	7日	1日	3日	7日	28日	7日	28日
+0.16	+0.16	+0.16	2.3	21.4	39.4	50.8	6.0	7.7
+0.79	+0.79	+0.79	15.3	33.8	44.7	57.4	7.0	8.3
+0.82	+0.82	+0.82	23.0	42.9	52.7	64.7	7.5	9.0

- 1) コンシステンシー：上端内径70mm、下端内径14mm、高さ392mmのJ14漏斗を用い、土木学会規準 JSCE-F 541-1999「充てんモルタルの流動性試験方法」に準じて流下時間を測定した。
- 2) ブリーディング率：土木学会規準 JSCE-F 542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 3) 凝 結 時 間：JIS A 1147：2001「コンクリートの凝結時間試験方法」に準じた。
- 4) 膨 張 収 縮 率：土木学会規準 JSCE-F 542-1999「充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法」に準じた。
- 5) 圧 縮 強 度：直径50mm高さ100mmの円柱供試体を用い、JIS A1108：1999「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準じた。
- 6) 曲 げ 強 度：JIS R 5201：1997「セメントの物理試験方法」10. 強さ試験に準じた。

施工上の注意事項

1. 本品の練混ぜには必ずミキサを用い、練混ぜ水には水道水またはこれに準ずるものを使用してください。
2. 練混ぜにアルミ製の羽根等を使用した場合、異常膨張する恐れがあるため使用しないでください。
3. 充填間隙が薄い、または厚い場合および無拘束面（外部に露出する面）が大きい場合は、環境条件によりひび割れ等の不具合を生じる恐れがあるため、最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

取扱上の注意事項

1. 本品は吸湿性を有する粉末品ですのでセメントと同様に取り扱い、袋単位で使用し、破袋または一度開封して放置された製品は使用しないでください。
2. 本品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
3. 取り扱いに当たっては、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
4. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
5. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
6. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診察を受けてください。

包装形態 25kg防湿袋詰

※本商品についてのお問い合わせは、最寄りの事業所および技術センターまでご連絡ください。

BASF ポゾリス株式会社

本 社 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 (代) TEL 03-3796-9710 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263
千葉営業所 TEL 043-203-1770 FAX 043-203-1772 神奈川営業所 TEL 0467-84-4166 FAX 0467-84-4299
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713 上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852
静岡営業所 TEL 054-647-3738 FAX 054-647-3739 (松本高岡事務所)
大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741
技術センター 技術的なお問い合わせ 混和剤製品 TEL 0467-87-8205 建材製品 TEL 0467-87-8207

www.pozzolith.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。
●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいますようお願い致します。
●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。
●BASF ポゾリス (株) は、生産統括部及び開発・技術センターにて、ISO9001及びISO14001を審査登録しています。

